

令和元年 7月 3日

福島が世界に誇る伝統文化を体感! 『相馬野馬追 特別モニターツアー』開催します

当プロジェクトは世界に誇れる浜通り地域の伝統文化として相馬野馬追を国内外へ発信し、交流人口の拡大という観点から、福島への将来的な誘客に繋げようとする取り組みです。現地関係者のコーディネートのもと、相馬野馬追に出陣する「家庭」に密着した留学生向けのモニターツアーを実施し、特別なコンテンツにより実体験を深掘りしていきます。終了後には、SNS、YouTube等の各自の発信媒体若しくは一体的な発信媒体を通じて、実体験を国内外に発信する機会を設けるほか、相馬野馬追の関係者に対する報告会も開催する予定です。

ぜひ、当日のご取材をよろしくお願ひします。

【プロジェクト概要】

目的

世界に誇れる浜通り地域の伝統文化として相馬野馬追を国内外へ発信し、交流人口の拡大という観点から、福島への将来的な誘客に繋げるべく、留学生によるモニターツアーと終了後の一体的な情報発信を実施し、特に海外での関心の喚起を目指します。それにより、近年増加しているインバウンドを浜通り地域に取り込み、実体験を通じた風評の払拭や消費拡大による産業復興の進展の端緒としていけたらなと思います。

活動内容

私たちは、福島が目指すべき復興の将来像として、「住民帰還と商圈回復が進み、海外を含めた域外からの人口の流入や交流人口が目に見える規模で増加するなど、持続可能なコミュニティが再生、自立している状態」を設定しています。また、国内外に広く伝えたい誇るべき文化として、この福島の地で1000年以上の歴史を誇る「相馬野馬追」の存在があります。この2つが交差したとき、交流人口の拡大という観点から福島への将来的な誘客に繋げることを目的とした「相馬野馬追プロジェクト」が立ち上がりました。

当プロジェクトは、福島相双復興推進機構(福島相双復興官民合同チーム)と、福島大学経済経営学類マクマイケルウィリアム助教、同大学教育推進機構 前川直哉特任准教授のご協力により実現しました。留学生を対象に、現地関係者のコ

ーディネートのもと、相馬野馬追に出陣する「家庭」に密着したツアーを実施します。また、ツアーに先立って、前川直哉特任准教授とマクマイケルウィリアム助教が監修する事前研修を設けることで、ツアーにおける留学生の学び・体験の質の向上を図ります。終了後には、マクマイケルウィリアム助教が担当する自己学習プログラムが運営しているローカルサイト「Our Fukushima」を中心に、留学生自身が SNS、YouTube 等の発信媒体を通じて実体験を国外に母国語で発信する機会を設けていきます。また、9月(未定)には現地関係者に対する報告会の開催も予定しております。

国内外の人々に、留学生のアクティブな学びの様子に加えて福島浜通り地域の「いま」を伝えることで、僅かでも交流人口の拡大を促進することができればと考えています。

【開催概要】

名称：『相馬野馬追 特別モニターツアー』

主催：任意団体 Assoc.(アソーク)

協力：公益社団法人 福島相双復興推進機構（福島相双復興官民合同チーム）

福島大学経済経営学類 マクマイケル助教

福島大学教育推進機構 前川直哉特任准教授

日時：事前研修 令和元年7月17日(水)17:30～ 2時間程度を予定

モニターツアー 令和元年7月26日(金)15:30～7月28日(日)18:00

事後報告会 令和元年8～9月頃を予定

会場：事前研修 福島大学学外施設国際交流会館 1F

モニターツアー 南相馬市内

事後報告会 未定

参加費：2泊3日で1万円程度の自己負担金

対象：福島大学在学中の留学生

定員：20名

【団体概要】

団体名：任意団体 Assoc.(アソーク)

代表者：渡邊健志郎エドガルド

Mail：assoc.f.egl@gmail.com

公式 SNS アカウント：Twitter @AssocFukushima Instagram assoc.fukushima

事業内容：産学官連携による地域社会貢献活動

<本件に関するお問い合わせ>

団体名：任意団体 Assoc.(アソーク)

担当者：代表 渡邊 健志郎エドガルド

Mail：assoc.f.egl@gmail.com

【活動の様子】

- ・北郷騎馬会 会長 泉川氏との打ち合わせの様子 (上)
- ・福島大学経済経営学類 マクマイケル助教との打ち合わせの様子 (下)

